



# 河小だより

四日市市立河原田小学校  
学校通信 第 10 号  
令和6年10月18日(金)  
文責 校長 福井 宣行



## 運動会が終わりました

前日まで天気に悩まされましたが、計画通り 9月5日(土)、無事に運動会を終えることができました。当日のあいさつでも述べましたが、保護者の皆様には 8月の奉仕作業、練習や当日までの子どもたちの体調管理、また PTA役員・委員の皆様には、前日雨の中の準備作業、当日の係活動など、ご理解ご協力をいただき、当日の成功に導いていただきました。改めてお礼申し上げます。

当日の子どもたちは、それぞれに大変良く頑張っていました。充実した笑顔や負けた悔しそうな顔など、様々な気持ちが交錯していましたが、最後に「がんばった」と元気良く手を挙げていた子どもたちの姿が目には焼き付いています。本当によく頑張りました(拍手)。

来年の運動会をより充実させるために、また悔しかった人はその経験をバネにして、「今からできること」を考え取り組めると、さらに今回の運動会の意味にさらに深みが出ます。ぜひチャレンジしてください。

最後になりますが、運動会当日観覧されていた方の救急搬送がありました。救護活動にご協力いただいた皆様、ご心配いただいた皆様、ありがとうございました。幸いにも当日中に帰宅されたことをご報告いただいています。ご家族の方から、ご心配いただいた皆様に感謝のお言葉をいただいておりますので、この場を借りてご報告させていただきます。



## 自ら考え行動する力の育成

～河原田っ子の日常から～

ある日の20分休みの時間、外で元気に遊ぶ子どもたち。途中で強い雨が降ってきました。雨の中遊びは続いていましたが、「教室に戻るように」と放送で呼びかけると、すぐに遊びをやめ教室に戻って行きました。

上記の姿を見て、「素直な子どもたちだな」と思いました。が、その反面、「なぜ自分で判断して戻れないのだろう」「誰かが『雨が降ってきたからもうやめよう』と言わないのだろうか」とも感じました。ふと、生活の中で「指示されたら動く」ということが日常化しているのではないかと懸念を抱きました。

これからの時代は社会の変化が加速し、複雑で予測困難な時代にあって、自ら考え行動をとる力が求められます。改めて、子どもが自分で考え行動できる場面を意図的に作っていく必要性を感じた一場面でした。

## 河原田礼賛（かわらだらいさん）

児童の皆さんの昇降口正面に大理石のモザイク壁画が展示されています。これは、河原田地区在住で河原田小学校出身の鈴木田俊二さんが河原田小学校の新校舎改築に合わせて作っていただいた作品で、河原田の春夏秋冬を表現したものです。

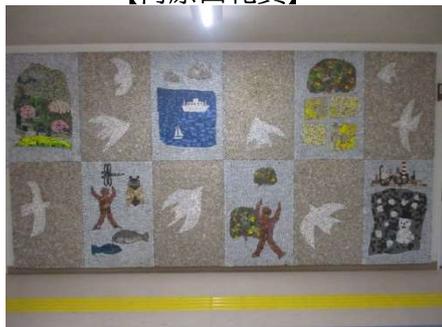
制作期間は2年。鈴木田さんは既にご逝去されていますが、生前は壁画をご覧になられると同時に、母校の様子を見に来ていただいていたと聞いています。

鈴木田さんの河原田地区そして母校により親しみをもてるようにとの思いを子どもたちに伝えるとともに、母校や地域を愛する心、そして自分にできることを行う力を育てていきたいと思えます。

【河原田礼賛】

【制作時の様子(回顧展リーフレットより)※1】

【タクラマカンのサンドアート※2】



※1 写真中央 鈴木田俊二さん

※2 サンドアートは、ウイグル地区に何度も赴き、何種類もの砂を重ねて制作されたものです

ご案内を1点。11月2日(土)～10日(日)(☆11月5日は休館日)、四日市市文化会館において「鈴木田俊二展」が開催されます。入場料は無料です。興味のある方は是非ご鑑賞ください。

## 放課後の過ごし方

日没が早くなってきています。子どもの安全を守るためにも、ご家庭で再度ご指導よろしくお願ひします。

- 暗くなる前に家に帰る。(できるだけ一人で帰らない)
- 交通ルールを守る。
  - ・ 飛び出さない。
  - ・ 自転車に乗るときはヘルメットを着用する。
- 出かける時は、「どこに」「だれと」「いつまでに帰宅するのか」を家の人に知らせる。
  - ・ 家の人がない時は、メモを残す習慣をつけるとよいでしょう。
- 知らない人についていけない。
  - ・ 「いかのおすし」の徹底  
(「いかない」「のらない」「おおごえをだす」「すぐにげる」「しらせる)

道路交通法の一部改正により、11月1日から「自転車のながら運転」等が厳罰化されます(※3)。法律の問題だけでなく、自分の命を守る行動として、事故の防止に努めてもらいたいと思えます。

また、暑さが和らいだためか、市内各所で不審者情報もあります。気を付けて行動しましょう。

※3 罰則は16歳以上が対象